科目名 Subject	美容衛生管理演習Ⅰ Beauty Sanitation Practice Ⅰ		教員名	相馬　勉	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	△	△	―
科目の概要	公衆衛生・環境衛生・感染症など複合的な観点から美容師、美容所における衛生管理の重要性と必要性を学び、消毒実験などのをふまえ美容師が自分自身とお客様に安全な技術を、安心して施術できるようになるために必要な知識・技術学んで行く。				
授業の目標	美容師法における衛生管理技術と消毒技術ならびに美容室において衛生管理業務を行う上で必要な知識・技術の重要性を理解し、説明することができる。 また美容師国家試験（筆記）に合格するための知識を身に付け実施することができる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業内にて、次回講義までの予習用・復習用の課題テキストを配布 予習復習は概ね60分程度を想定しているが、内容によって90分以上かかる回もある。時間では無く、内容の理解を念頭に学習すること。				
教科書・教材	教科書	「衛生管理」日本理容美容教育センター編			
	教材	筆記用具、配布プリント			
	使用設備・備品	消毒実験用具			
	参考文献				
評価方法	授業態度20%、提出物10%、期末試験（実技）70%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	遅刻、欠席は原則認めません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション 公衆衛生の意義と必要性、歴史を知ろう	授業の流れを把握する。 公衆衛生の必要性と意味を理解し述べる事ができる。	衛生業に関わる専門用語をまとめたテキストを使用し、今後の授業内容の理解度を高める
第２回	予防医学と母子保健の統計を学び公衆衛生水準の基本を知ろう	母子保健の推移統計や公衆衛生水準の比率を知り、美容師と公衆衛生の深い関わりを説明する事ができる。	公衆衛生の専門用語と医学・保健の統計に関係する数字の予復習テキスト
第３回	成人・高齢者保健といろいろな病気の死亡率を知ろう	成人・高齢者保健を理解するし、生活習慣病・各病気による死亡統計を理解する類別する事ができる。	成人・高齢者保健と死亡率・死亡理由の病名と数字の予復習用テキスト
第４回	精神保健と福祉、医療介護、介護保険制度とは？	精神保健、医療保険制度の基礎知識を理解し現状限所を推論できる。	成人・高齢者保健と精神保健・介護保健の制度と対象者の仕組みをまとめたテキストを使用
第５回	栄養素とその働き、日々の栄養摂取状況を知ろう。	各種栄養素の役割と必要性を理解し、栄養不足による病気も列挙できる。	栄養素の人体への影響と、病気の関係性の復習と環境の人体影響の予習テキストを使用
第６回	環境衛生とは？ 空気・水・光と健康の関係について。	人に影響をおよぼす各種環境要因を学び、衣食住と健康を関係づける事ができる。	人体へ環境がおよぼす影響と要因をまとめたテキストを使用
第７回	ゴミ問題と衛生害虫、美容室での衛生対策はどうなっている？	上下水道と廃棄物、美容師法にかかわりの深い害虫を知り、美容所の環境衛生の重要性を述べる事ができる。	公衆衛生・衛生行政の総復習問題テキストを使用
第８回	感染症とは？ 人と感染症の歴史と各種病気の分類方法を知る。	感染症発見の歴史と各病気の重症度、法律上の分類を説明する事ができる。	各感染症の分類と、病気の特徴を復習
第９回	美容師法に関係の深い感染症とは？ウィルスや菌の特徴と生体の違い。	感染症の分類のより細かな分け方と原因となる病原体の特徴を理解し、類別できる。	感染症学に必要な基礎用語、専門用語を予復習テキストで理解する
第１０回	感染症の発生原因を知り予防法を学ぼう！	感染症発生要因と人体の病状の違いを学び、免疫と予防接種の意味を解釈できる。	病原性微生物の分類理由と特徴を理解する
第１１回	感染症予防と各感染症の感染経路を学ぼう！	空気、飛沫・飲食物・血液感染の違いを知り分類できる。	予防医学・免疫学、それにまつわる各種感染経路の復習テキスト
第１２回	美容業務と消毒の関係。美容道具・美容器具ごとの正しい消毒方法	消毒の意義、消毒時の注意点、理学的・化学的消毒方法の違いを理解し消毒に対する正しい消毒方法を選択する事ができる。	感染症の総復習問題テキスト
第１３回	消毒薬の希釈法を学ぶ。	各種化学的消毒法を知り、その薬液の調整方法を習得し消毒薬を操作できる。	各消毒方法の特徴の復習と消毒薬の希釈計算問題で計算式を覚える
第１４回	消毒実験！	薬液を実際に調合し美容器具や手指に適した消毒方法を実施できる。	実験レポート作成
第１５回	実験結果!! 衛生管理技術まとめ	実験の結果を検証・反省し衛生管理業務を行う上で必要な知識・技術の重要性を理解し、説明する事ができる。	衛生技術と消毒法の総復習問題テキストを使用